

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

私たちは子どもに何が必要（ニーズをキャッチ）なのかを考え、何かできるのかを常に考えながら、学校・保護者・地域の人と共に目標を実現させてゆきたい。

【今年度の取組紹介】

(1) 「ひつじ放牧5周年記念事業」

この放牧事業により、学校と地域が連携できる様になり、地域コミュニティの再構築に大きく貢献できました。

この成果は全国的でも高い評価を受け、マスコミにも多く取り上げられました。



(2) 「とみきた芸術祭」

念願であった中学校での開催ができたことで、学校と地域の連携が大きく前進しました。



(3) 「学校カレンダーアプリ」の導入

全国で初めてのカレンダーアプリを日本のトップ企業ジョルテ(株)と提携し導入。

保護者から便利さと、今後の活用において高い評価を受けています。

【今年度のまとめ】

- ・「とみきた芸術祭」が中学校で開催することができて、学校と連携が更に深まりました。
- ・ひつじの事業が一時中断しましたが、今年の多くの経験により今後のひつじの事業の展開に大きく寄与することとなりました。
- ・奈良市の他の中学校区の教育協議会と交流することが少なかったです。お互いが刺激しあい新たな発見が期待されましたが、残念でした。

【来年度に向けて】

- ・この事業も10年を経過し、新規一転新たなスタートにしていきたいです。
- ・この活動は人材が一番であり、育成に注力したいです。
- ・当教育協議会の活動は、独自に作られたプログラムであり、更に求められていることを自覚した活動を行いたいです。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

様々な活動を地域に発信する意識を持ち、できる限り子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実

【今年度の取組紹介】

学校と地域とより深く連携していくために、昨年度に続き、今年度の生徒会が目指す取組を理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしました。

「地域ふれあい事業」では、東登美ヶ丘小学校や登美ヶ丘高校と朝のあいさつ運動を行い、登校する児童生徒や通勤途中の地域の方々への挨拶を行いました。

「防災教育推進事業」の炊き出し訓練では、地域の自主防災防犯会の方と保護者の方々に来校していただき、防災教室やハイゼックスを使った米炊きや非常食の仕分け作業を一緒に行っていただき、災害時の非常食の段取りや、それらに関わる苦勞が体験できたことはよい経験になりました。さらに災害時に自分たちが取るべき行動についての心構えを持つことができました。「キャリア教育推進事業」では、講師の方に来校していただき、マナー教育や、面接指導、「労働に学ぶ」の講座などで人間関係形成能力や課題対応能力を培いました。



【今年度のまとめ】

地域のつながりを深めるため、防災教育推進事業に力を入れており、今年度は、昨年度に引き続き地域の自主防災防犯会の方による授業をしていただきました。被災時の行動を学び、地域の方たちと一緒に訓練をしたことによって、災害に対する心構えに変化が見られました。地域の大人から学ぶことの大切さが理解され、自分たちでできることの一つに地元の方へのあいさつ運動を計画することなど、地域に出向き大人と関わることでつながりを活性化させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

【来年度に向けて】

小中連携と中高のつながりを深めつつ、地域の中でできる活動内容を充実させ、本校区の学校ブランド力を高めていくとともに、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、新たな交流と理解を求めていきたいと考えております。また、子どもたちの学力向上と激変する未来においても活躍できる人材の育成に努めてまいります。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実

【今年度の取組紹介】

《学習支援事業》地域の方に教えてもらう

《体験学習事業（ゲストティーチャーによる授業）ふれあい事業》

◆幼小合同学習 / 昆虫の話 / 平和の話

【おはなしの森】/獣医師によるいのちの授業～いきものといっしょ等

さまざまな体験授業を実施してきました。児童たちは初めての体験でその楽しさや難しさを知り、また、ふれあいや体験を通じて、「命」の尊厳を学んでいます。さらに伝統ある仕事に取り組んでおられる方の思いなどを学び、これからの学校生活などに生かしていくことができる取組でした。

《環境整備活動事業》

◆通学路清掃、花壇整備、

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただいています。特に花壇整備をしていただくことで、その様子を見ている児童も多く、そのことで働く（ボランティア）ことや環境整備の大切さを知る良い機会になっています。



【今年度のまとめ】

子どもたちは、日頃体験することのできない、葛餅づくり体験、戦争体験を聞くことを通して平和の大切さを知るなど様々な学習を通して多くの事を学びました。また、ふれあい学習や体験学習での人との関わりや命の大切さを学びました。

また、車いす体験学習と合わせてパラリンピック競技の「ボッチャ」を教えていただくことで、スポーツを始め多くの「人・もの・こと」を通して、生活の中で関わる大切さを知ることができました。これからも「地域で育っている心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験であったと思いました。

【来年度に向けて】

学年に応じた様々な体験学習や行事等を通じて、今後ももっと保護者の方や地域の方々と連携を深め、さらなる交流・繋がりをもつことにより、心豊かな登美っ子の育成を目指していきたいと思えます。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

- 地域人材を生かした体験的学習の充実と読書活動の推進。
- 恵まれた環境を生かした栽培活動や遊び・運動の推進。

【今年度の取組紹介】

○体験学習事業（2年 体験学習「虫博士」）

2年生の体験学習事業として「虫博士」をお招きしての体験学習を行いました。中庭で昆虫の取り方やその特徴などを詳しく教わりました。自然の中で活動することが少ない子どもたちにとって、貴重な体験になったようです。



○環境整備事業

学校の広大な敷地を生かして、花いっぱい、緑いっぱいの素晴らしい環境づくりに取り組んでいます。東登美ガーデンや校門前の整備をはじめ、校内各所にもボランティアの皆さんが定期的に花を飾ってくれる等、よりよい環境作りに努めています。

○読書活動推進事業（お話の会）

読書推進活動は朝・昼読書、お話の会、図書整備活動の3つの活動を中心に進めています。西部図書館からも定期的に本の貸し出しを行っていただき、様々なジャンルの本に触れる機会を設けています。読み聞かせの活動も定期的に行い、子どもたちも毎回、楽しみにしています。



【今年度のまとめ】

- 各学年の体験学習事業では、新しい出会いを経験する貴重な機会になっています。様々な方と出会い、学ぶことで教科の学習だけではできない大切な学びができました。
- 環境整備事業では、東登美ガーデンの整備をはじめ、花や自然いっぱいの素晴らしい環境が保たれています。子どもたちも進んで栽培活動に取り組むなど、自然を愛する心がしっかりと育まれています。
- 読書活動推進事業では、取組がしっかりと根付き、休み時間も本に触れる児童が数多くみられました。また、読み聞かせの取組により、様々なジャンルの本に親しみ、子どもたちのコミュニケーション能力の向上にも大きく役立っています。

【来年度に向けて】

○地域に根付いてきた取組も多く、年間計画による位置付けを工夫しながら、来年度以降も継続及び推進を目標に事業を進めていきたいと考えています。また、協力していただける人材を増やし、新たな計画と組み合わせながら、さらなる充実を図ってまいります。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

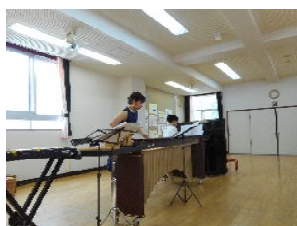
温かい人間関係の中で、自ら環境にかかわり、意欲的に活動する幼児の育成

【今年度の取組紹介】

○隣接する登美ヶ丘小学校の1年生と計画的に交流を持ち、小学校の学習の様子を見せてもらったり参加させてもらったりする機会を重ねることができました。小学生になる期待を持てるようにするとともに、中休みの時間を利用して、週に1回程度園庭に遊びに来てもらい、一緒に砂場で穴づくりや山づくり、サッカーや鬼ごっこをして遊ぶ機会を持っています。また、畑や花壇に集まる虫探しを一緒にしたり、木の実を作って色水づくりをしたりするなど少しの時間ではありますが子ども同士での自然な会話ややり取りが見られます。一緒に遊ぶ中で、グループの分け方やルール決め方など、身近な年長のモデルという存在から、いろいろな刺激をもらったり、やさしく接してもらったりする経験が、未就園児うさぎ組ひよこ組との交流に活かされていると思います。



○感動体験事業マリンバとピアノのコンサートでは、地域の方や未就園児とともに楽器の音色に触れ心温まる時間を過ごすことができました。コンサートの最後に、実際にマリンバに触れさせてもらい演奏させてもらったことで、リズムを感じたりリズムに乗ったりすることに興味を持ち、自分たちで行う楽器遊びからクラス全体での合奏へとつなげられたことが今年度の成果だと感じています。



【今年度のまとめ】

○昨年からはじめた休み時間を利用した自主交流を継続できたことで、小学生と園児双方が、交流を楽しみにし、積極的な姿につながっているように感じています。

○ピアノとマリンバという異なる音色の違い、2つのメロディーやハーモニーの融合など、心地よい音楽に触れられたこと、また、本物の楽器に触れ実際に演奏させてもらった経験が子どもたちの興味を引き付ける大きな成果であったと感じています。また、その経験を、日々の保育に活かすことができました。

【来年度に向けて】

○隣接する小学校との交流の在り方を今後も探り、よりスムーズな接続となるよう努めていきたいと思っています。

○子どもたちの興味関心を捉え、感動体験事業を計画し、日々子どもたちの生活につなげ、子どもたちの経験や心情が豊かになるよう努めていきたいと思っています。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

地域とのつながりを大切にしながら取り組み、子どもたちが楽しさ、温かさ、思いやりを感じられる取組の充実

【今年度の取組紹介】

「ふれあい感動体験事業」では、サッカー教室・英語で遊ぼう・お話ひろばを年間を通して行い、園児たちの豊かな心を育み健やかな成長の一つとなりました。サッカー教室では、自分の体を力いっぱい動かすことの心地よさを味わい、試合形式をする中で、友達と力を合わせる心にもつながりました。英語で遊ぼうでは、楽しく自然に五感を通して英語に触れ、英語を話すきっかけとなりました。お話ひろばでは、地域で活動している“ありんこ”、卒園児の保護者“ひまわり”“おひさま”の方にいろいろな形で話をさせていただき、園児たちは空想の世界に浸ったり、登場人物の気持ちになったりして心豊かな経験ができました。



保護者への啓発としてフリー参観を行うことで、園内の事業や地域を知り理解していただくことができました。



「環境整備事業」では、地域コーディネーターの方のご協力のもと、草刈り・剪定・花壇整備をすることによって、園児たちがのびのびと活動する場ができるとともに、四季折々の花々に興味をもつきっかけとなりました。

【今年度のまとめ】

- 今年度からこども園に移行し、3・4・5歳児のたくさんの園児たちが様々な活動を通して、心豊かな経験を積み重ねることができました。継続した地域の方との温かな経験は、楽しさと次への意欲につながりました。

【来年度に向けて】

- 園児が地域の方・近隣学校園とのかかわりを持ち、より豊かな経験ができるように、今後も連携をとり地域の教育力を生かし、園活動の充実に取り組んでいきたいと思っております。